

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5			
	2	職員の配置数は適切であるか	5			職員が一定のところに集まらないようにし、子どもを確認できるようにしている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5			車椅子利用児童も移動しやすいよう、スロープやエレベーターがある。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5			年度末に「通信簿」として事業所の評価をお願いしている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5			毎年している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	1	1	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5			1～2ヶ月に1度研修あり。研修動画をみて当事業所の利用者に照らし合わせて学んでいる。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			送迎時など保護者から日常的に児童の様子をヒアリングし、計画につなげている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5			定期的に活動案を全員が出している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5			新しい視点のものが無いのか、ミーティング時に話し合われている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5			1日スケジュールを立て、活動している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			申し送りとして、活動内容や配慮したい点などを共有している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5			送迎後、毎日その日の様子や支援について全員で振り返っている。気になった点はすぐに聞くようにしている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5			
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5			

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	5		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	5		事業所利用日に学校とすれ違いが起こらないように、必要な場合はこちらから利用予定表を渡している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	5		該当者なし。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5		相談員へ伝えている。 リビやファームの場合も伝えている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2		3 公園など、活動で出かけた先で関わる機会がある。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	2		3
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5		送迎時などこまめに話して共有している。その日の出来事や家庭での様子を聞き、子どもとの関わり方について考えたり話し合ったりしている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5		事業所で試して効果的だった声掛けなど伝えている。
保護者への	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5		不安がある際は、電話や直接の面談などにつなげている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2		3 希望者が少ない為。

説明責任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5			毎年度末実施の「通信簿」や普段の送迎時など意見を伝えられる場を作り、改善点など考えられている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5			おたよりや活動表「らしか通信」として長期休暇前やお知らせごとを発信している。
	35	個人情報に十分注意しているか	5			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5			活動では手順書を用意したり、イラストカードを用いたり、分かりやすくするよう努めている。
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2		3	散歩の時など、地域の方への挨拶で交流している。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5			6月、12月に避難訓練を実施。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5			毎月チェックシートで振り返りをしている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5			アレルギーのある子について注意事項や対応方法をまとめ、職員全員が確認できるよう張り出されている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5			事故報告書をまとめ、毎月のミーティングの際に全事業所に共有している。ケガや事故、それにつながる事象があった時はヒヤリハットを記録している。